

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	鈴木 貞信	会員番号:	13645	事務局整理記入欄	北海道 - 36
分水嶺区分	H143多峰古峰山 ~ C660	(3)山行日:	2004年	4月	1日	(4)天候	曇時々晴

積雪量 1m

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

CL 新妻 徹	5868	鈴木 美紀	会友10				
漆崎 裕子	13041						
SL 鈴木 貞信	13645						
鶴岡 節子	申請中						
計			5名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	R276シヤマナイ橋 ~ シヤマナイ沢 ~ 多峰古峰山 ~ C651の東300mC660 ~ C583 ~ R276シヤマナイ橋												
アプローチ:	札幌 ~ 支笏湖 ~ R276シヤマナイ橋(往復)												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	シヤマナイ橋	風不死岳	141	18	31.4	42	42	20.2	265		8:45		8, 9
分水嶺到達点 H143	多峰古峰山	"	141	17	50.0	42	41	38.3	664	10:40	10:50	B-4	8
	C497	"	141	18	37.9	42	41	6.7	498	11:25	11:50	B-4	9
残り分水嶺始点	C590	"	141	19	49.7	42	41	4.6	587	12:40	12:50	B-4	10
残り分水嶺終点	C660	"	141	20	46.0	42	40	59.0	660	13:40	13:55	B-4	10
分水嶺離別点	C590	"	141	19	49.7	42	41	4.6	587	14:25	14:35	B-4	8, 9
歩行終了点	シヤマナイ橋	"	141	18	31.4	42	42	20.2	265	16:25		B-4	
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間15分		
分水嶺距離残り分:											1.5km		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H143	多武古峰	2			積雪のため確認不能

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

シヤマナイ沢には、地図にない林道が何本もある。

(9)水および植生に関連した特記事項

シヤマナイ沢から峯の洞門にかけての平坦地は、エゾマツ、トドマツなどの植林地が多い。
多峰古峰山 ~ C497にかけての分水嶺南側は、エゾマツ類の人工林となっている。
その東は、ドロノキ、ハンノキ、ダケカンバや雑木が密集している。

(10)その他の特記事項

山名の「タップコップ」とは、アイヌ語辞典では、離れてぼつんと立っている円山;孤山;弧峰、尾根の先にたんこぶのように高まっている所。日本山岳ルーツ大辞典では、「タブ」;円頂丘の山、「コブ」;灌木の生ずる小丘となっている。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 多峰古峰山頂上にて

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--



多峰古峰山頂上にて